

事務職員部会 実技・理論 研修会 終了報告

<p>テーマ</p>	<p>公立小中学校事務職員の日常的な実践の交流や研究協議を通して、子どもの学習権の保障や他職種との協力・協働のあり方等をさぐり、今後の実践にさらに活かしていく。</p>	
<p>日時</p>	<p>令和元年11月 8日(金)</p>	
<p>会場</p>	<p>札幌市 ホテルライフオート札幌</p>	
<p>講師 (指導者)</p>	<p>木岡 一明 氏 (肩書:名城大学農学部キャリア教育研究室 教授) 管内公立小中学校事務職員(各市町村代表者)</p>	
<p>参加者</p>	<p>約76名</p>	
<p>研修会 の 様子</p>		<p>市町村独自研究交流。各市町村代表者により、各市町村で独自に行われている研究や実務実践に関わって発表を行った。給食事務や備品の取り扱い、事務便り等、他の市町村の違いや課題への取組の情報交換をすることにより、それぞれの市町村の今後の取組に生かせる内容であった。</p>
		<p>講演会。昨年度、全道事務職員研究大会で講演を行った木岡教授を招き、法令により「事務をつかさどる」となったことの意味や意義について、講演を頂いた。例示を交えながら、新しい学校事務像を打ち立てる視点や、近い将来予想される事務職員の業務等、多くの示唆を得ることができた。</p>
		<p>全体研修会(グループディスカッション)。年齢別の分散会形式で、「これからの学校事務」と題して研修を行った。研修の新しい試みとして、模造紙と付箋を使い、今後の研究の方向性や取組の工夫など様々な意見を交流することができた。</p>
		